

2011年2月18日 13:05~15:35 エルパーク仙台
IBMユーザ研究会「女性セミナー」

アイデア創出の技術ワークショップ

IDEAPLANT
石井力重
rikie.ishii@gmail.com

ゼロから紡ぎ出していく。
何か新しいものを創りだす。

・・・そんな場面で
無意識にしている「考え方」

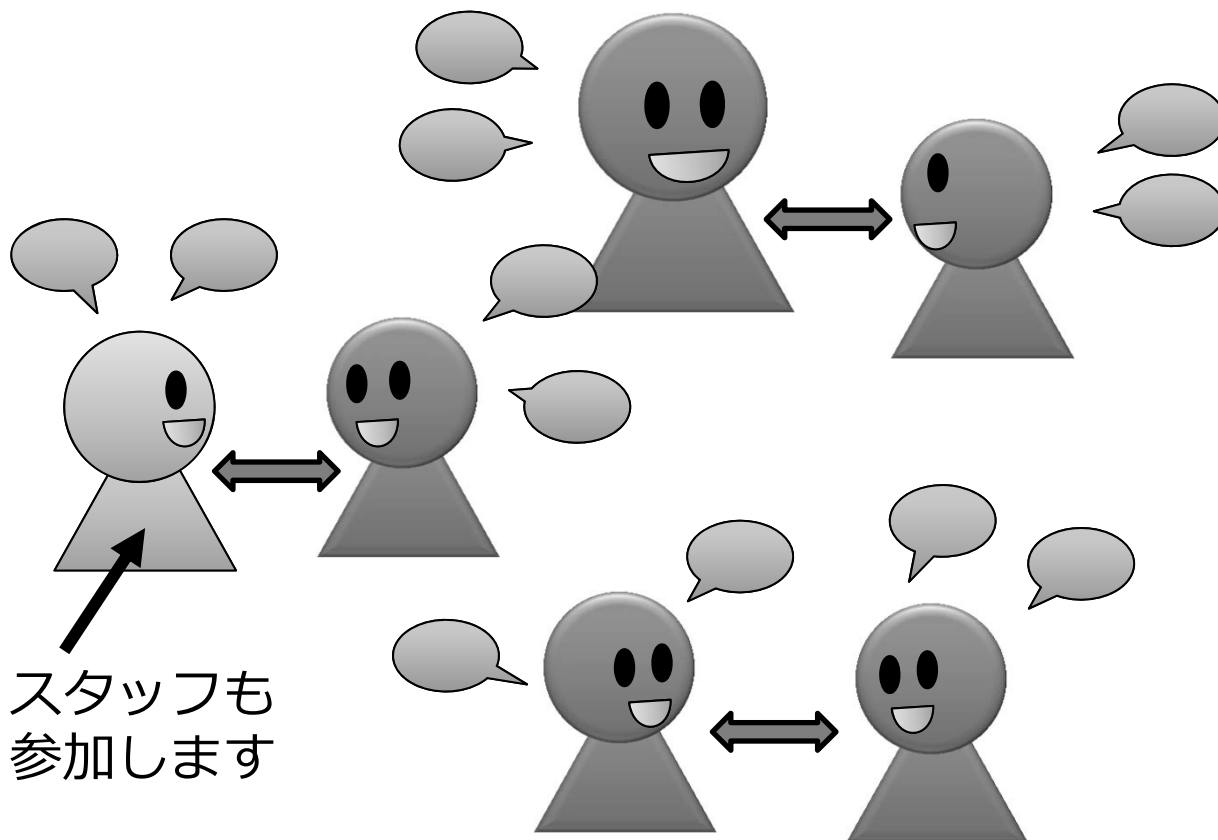
そのコアを知ると、
アイデア創出の能力は、ある程度、
意図したとおりに使えるよう
になります。

創造についての研究は、未踏の部分も、まだ沢山ありますので、望むままに100%、とは言えませんが。

1. ペアでアイデア出し (他花受粉)

SpeedStorming

- MITで開発されたアイデアワークの方法
- 異なる専門の人同士の連携ネタを生み出しやすい



初めに、
30秒ずつ
自己紹介

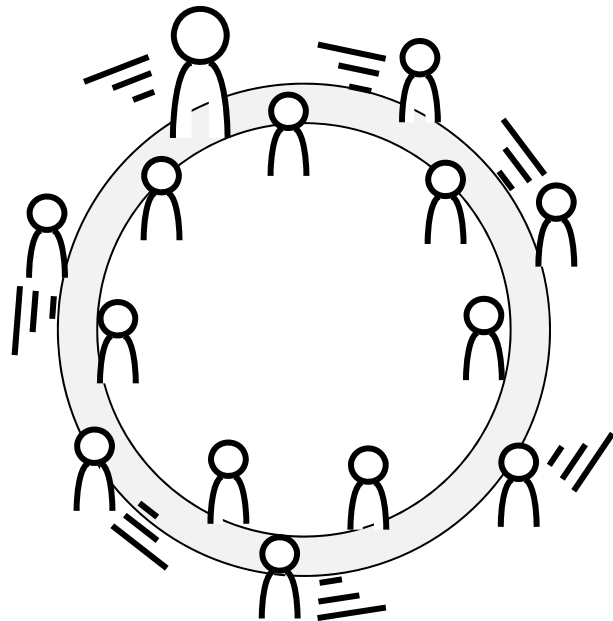
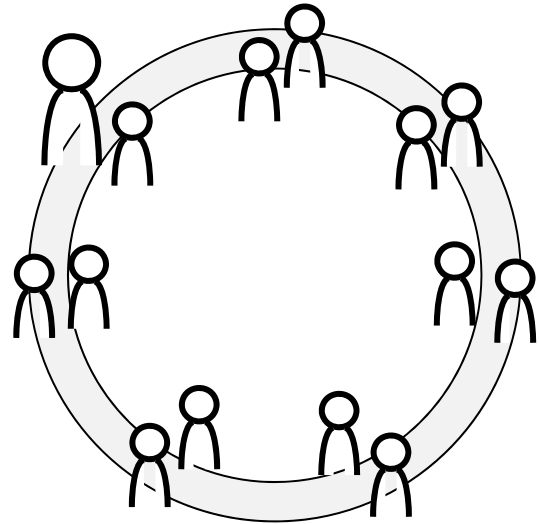
5分間、アイデア出し

1分間、メモ取り

ペア交代

× 5セット

ペア・ブレスト (Speedstorming) (30分)

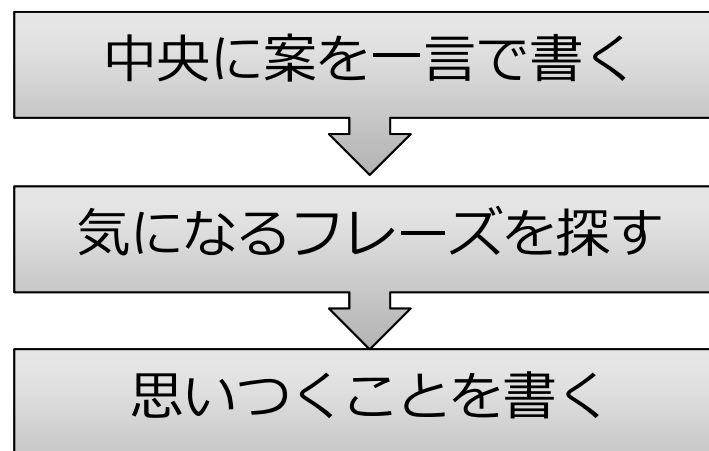
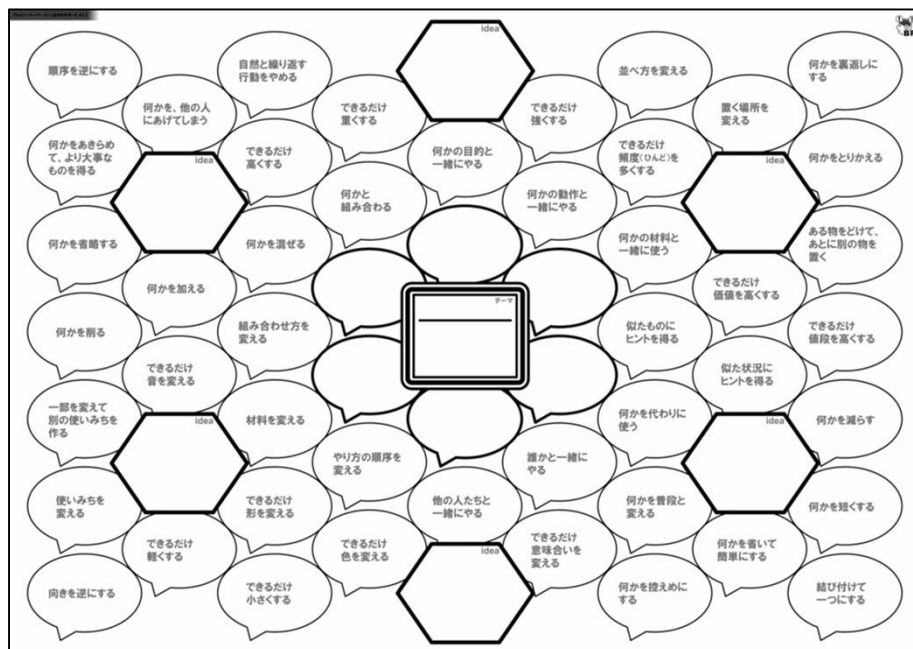


- ① ペアで、輪に
- ② 5分間、ペアで
(自己紹介。アイデアだし)
- ③ 1分間、メモタイム
(会話を、徐々に収束)
- ④ 挨拶、外側が1つ移動
(時計回りに)

～ 計5回、実施

2. 可能性を広げる (自分とブレストする)

発想トリガー・ボード



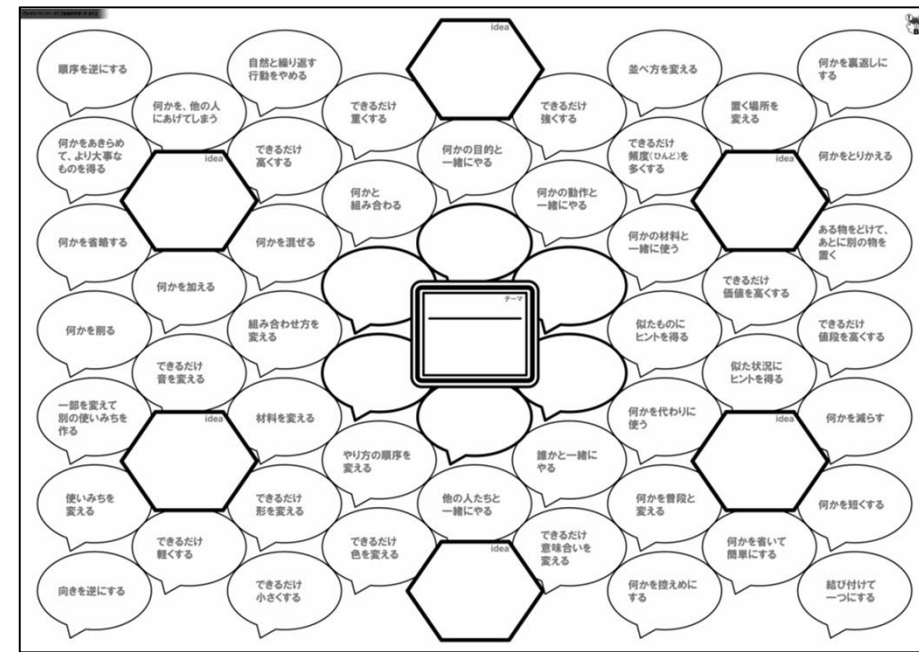
8分

※フレーズを見ると、
思い出すこともある。
それも書く。

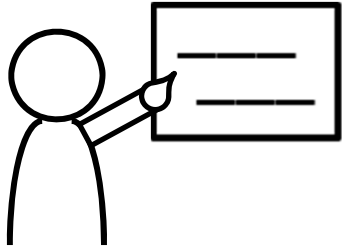
書くことをためらわない。
迷ったら空白のマスを使う。

発想の手順

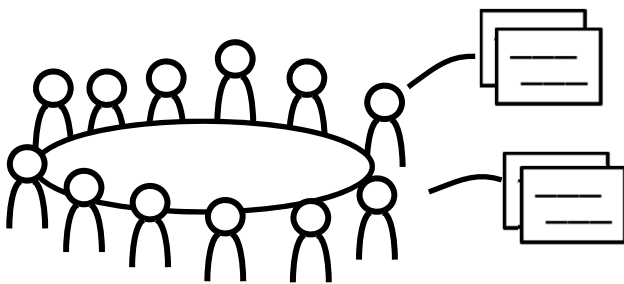
1. 中央に発想のテーマを書く
2. セルの“フレーズ”を眺め、思いつくことを書く
(フレーズに上書きする感じに) 【10分+】
3. 空白セルは自由に (途中で思いついたこと等)
4. “フレーズ”から発想を出しにくいときには、中央近くの空白セルにテーマから連想することを書いて発想の助走を。考えるヒントが次第に出る。
5. 発想しやすさ第一。
発想しやすいように自由に使ってください。



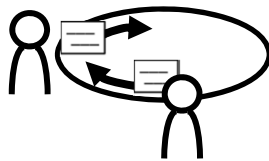
3. テーマ設定ワーク (20分)



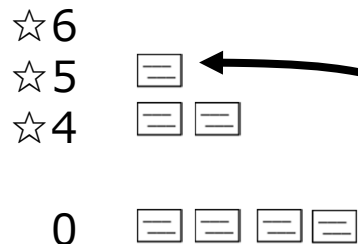
① 「良いテーマ」のコツを紹介



② 一人三枚、書く (似た文で)

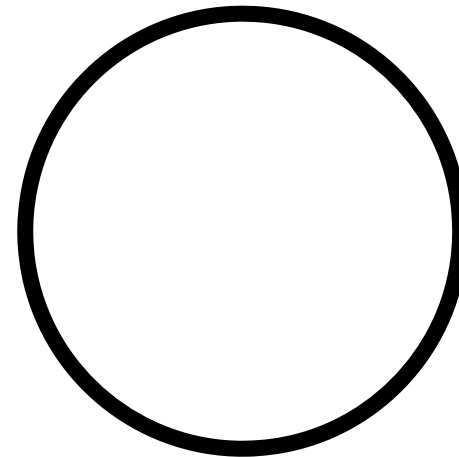
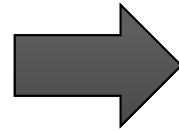
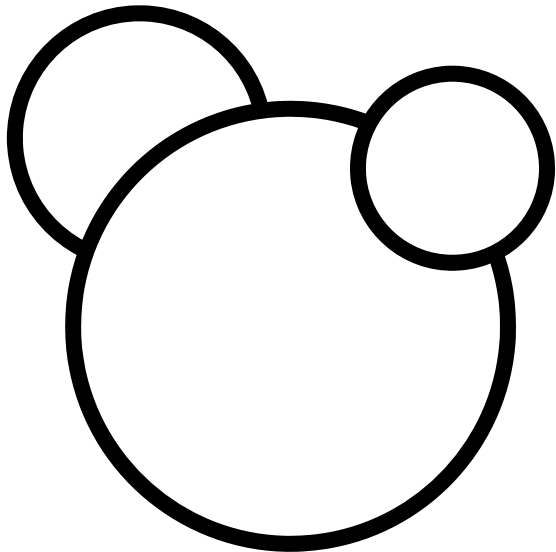
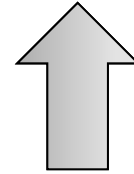
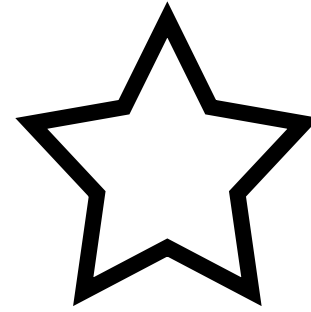
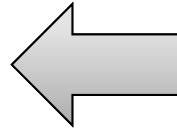


③ 回して☆を付ける
(面白い、取り組みたいもの)

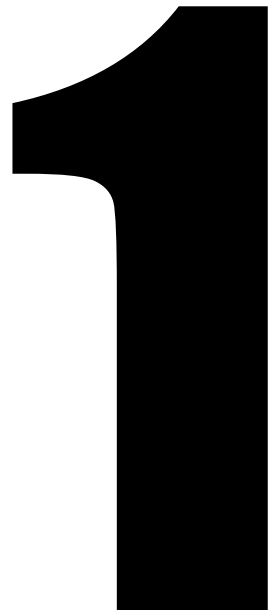


④ テーマ、決定

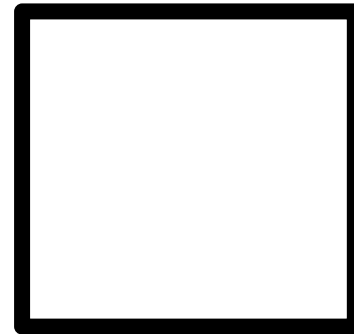
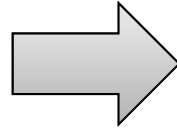
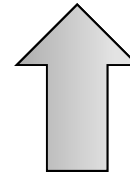
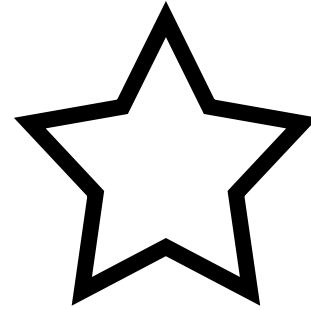
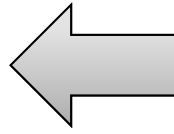
あとで融合



1つにする

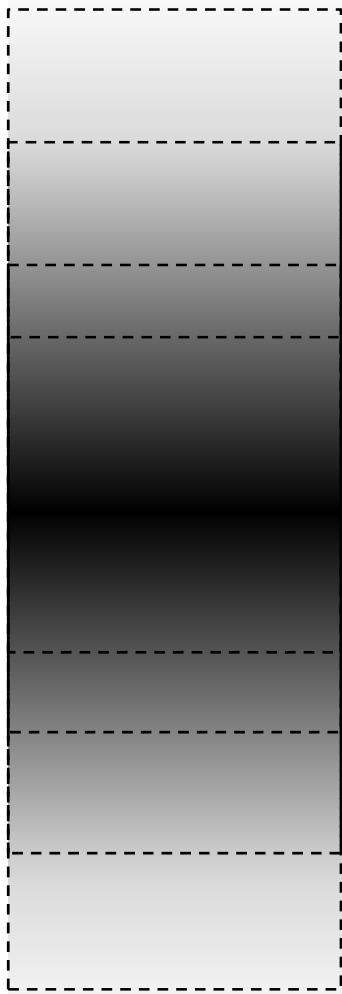


広くする

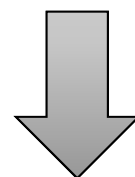
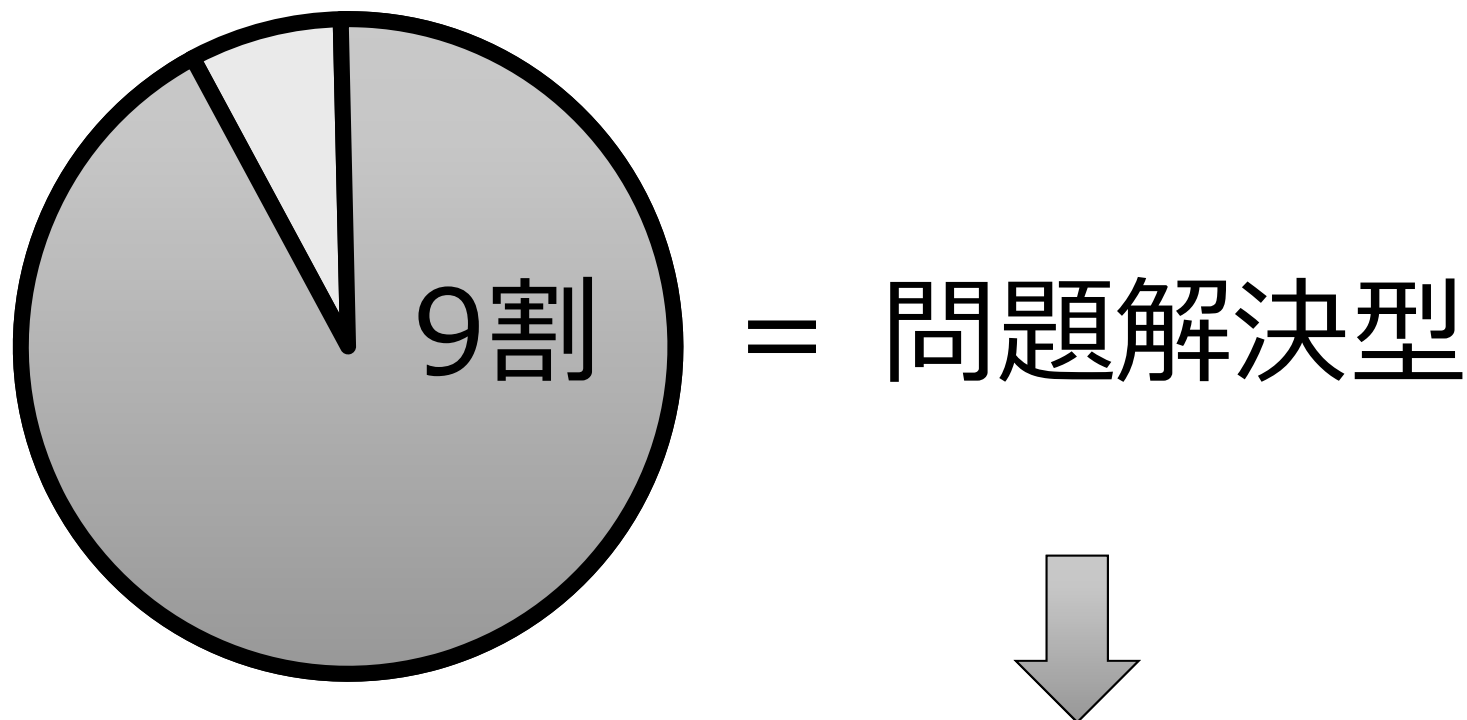


具体的ににする
(狭くする)

曖昧・広すぎる



世の中のアイデア出し



**「〇〇するには、
どうすればいいか？」**

※残り1割 = 新規構想型 ⇒ フォーマットは未確立。本質は「新しい〇〇のアイデア」



シンプルだけれど、有効性の高いコツ

『紙に書く』

アイデアワーク全般における鉄則！

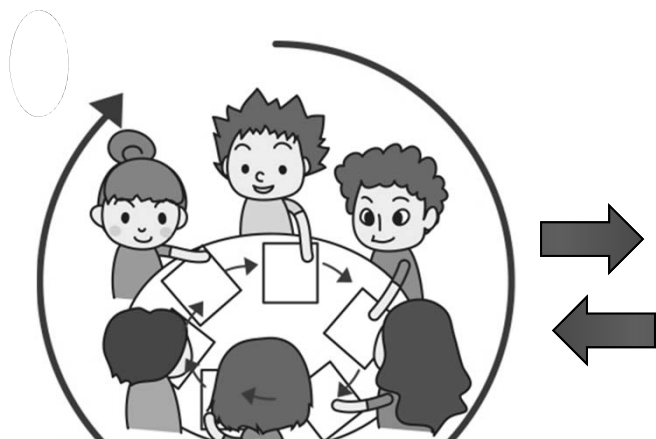
書くは“効率的な**短期記憶の使い方**”なんです

【設定時の、実際の手順】

1. 取り組みたい課題（発想のテーマ）を
とりあえず定型文を使って書く。
「○○するにはどうすればいいか」
2. 文章（○○の部分）を単純にする
「複雑」→「1つ化」
「抽象」→「具体化」
3. 文章を整える （ ⇒ 発想する ）

それでも、しっくりしない場合は『新しい○○のアイデア』型も検討する

4. グループでアイデア出し (ブレインライティング)



Brain Writing Sheet

こんなアイデアもOK! -アイデアに詰まったら-

Brainstorming

1

2

3

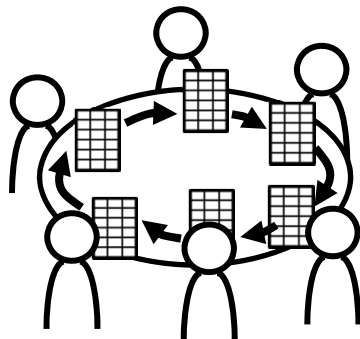
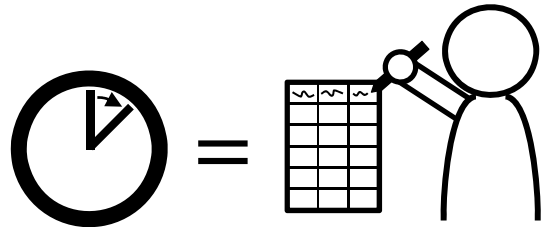
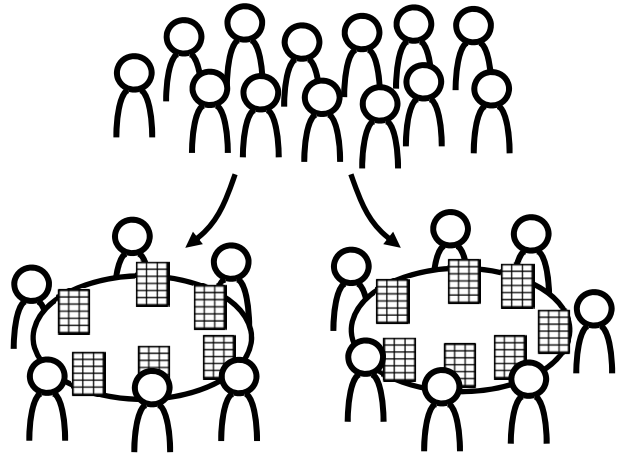
4

5

6

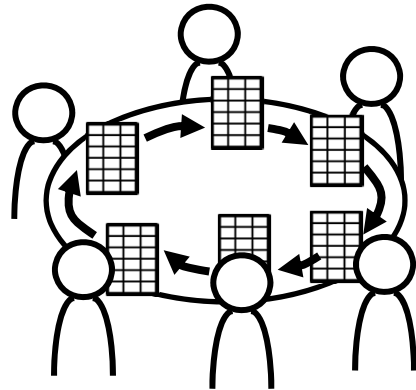
ブレイン
ライティング
シート2

書くブレスト (30分)



- ① 6人グループに分かれ、座る
- ② テーマの確認
- ③ テーマを書く (BWシートに)
- ④ アイデアを書く (3分、3つ)
- ⑤ 左に回す
- ⑥ 繰り返す (④⑤を。6行目まで)

5. 良案抽出 (ハイライト法) (10分)



☆6	☐
☆5	☐☐
☆4	☐☐☐☐
☆3	☐☐☐☐☐☐
☆2	
☆1	...
☆0	

- ① シートを回し、☆を書く
(「面白い」「広がる可能性がある」)
(時間は、1枚1.5分)
(自分のアイデアも、☆付けの対象)
- ② 一周するまで、繰り返す
- ③ カットし、☆の多い順に並べる

傾向

- ☆ 1つ以上… 55%
- ☆ 半数以上… 15%
- ☆ 3/4以上 … 4%

上位20%を抽出する方法

質の高いアイデアリストを作るには、ハイライト法を行い

- ・ ☆3つ以上（大体、上位15%になる）
- ・ ☆2～☆1の中から一人1つ、アイデアを拾い上げる

合計で20%程度にする。

補足：

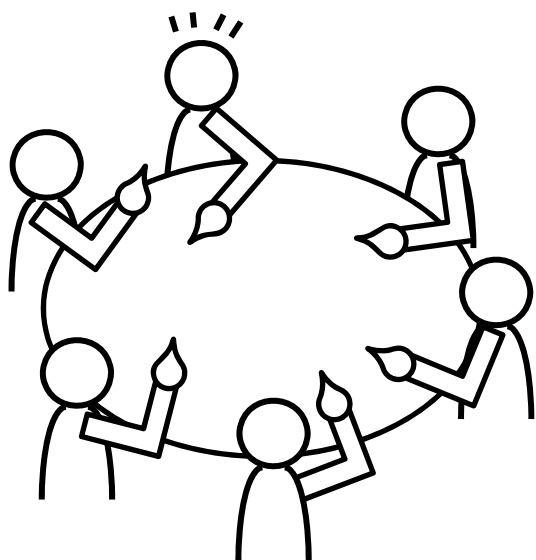
☆2～☆1というのは「駄目なアイデア」ではなく、「ダークホース」である。創新の芽はダークホースに、多い。それを拾いあげよう。

備考

上記は6人で108個のアイデアに適用した場合で表現した数字です。

人数が多い・少ないケースでは、「星3つ以上」では15%から大きくはずれてしまうことがあります。その場合は、閾（しきい）値となる星の数を上下に変えて調整します。

進行役、選定（1分）



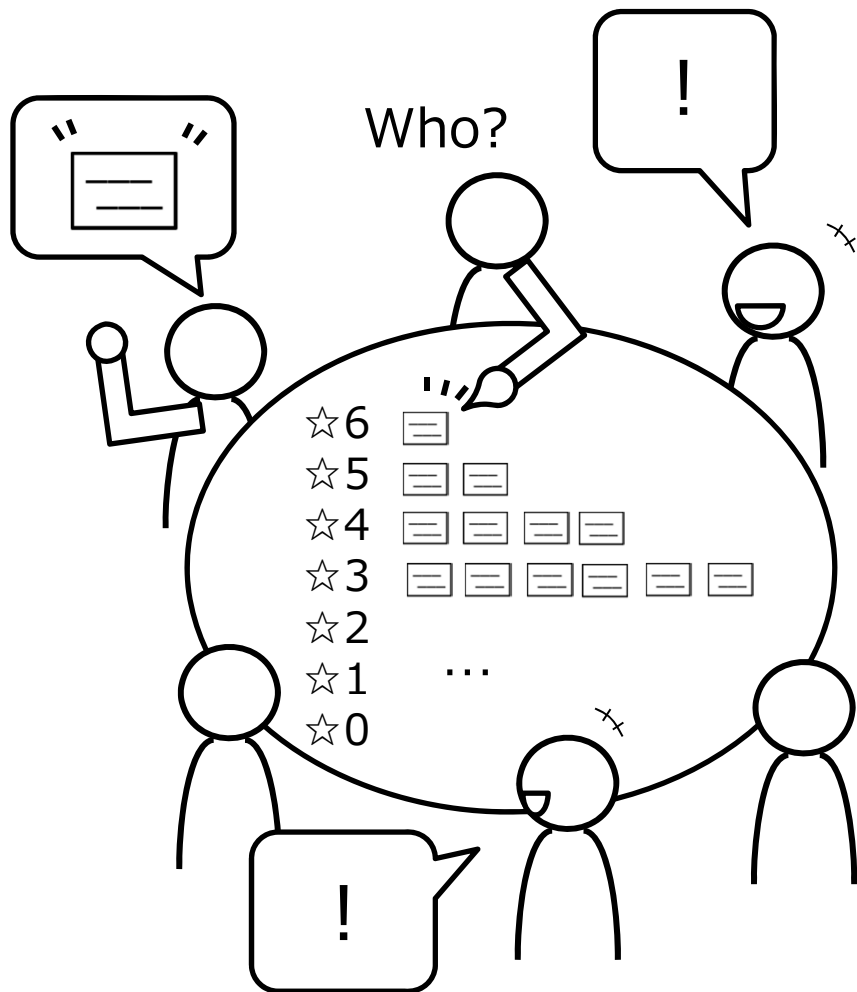
- ① 進行役に良さそうな人を各テーブルで、1人決める。

「せーの」で指をさす

- ② 最も多い人は、この後のレビュー&ブレスト（30分）の進行役を務める。

（同数1位の場合は、じゃんけんで勝った人）

5. レビュー & ミニブレスト (15分)



- ① ☆トップのアイデアを出した人が、補足や詳細を、口頭で説明。
- ② 聞いている人は「良い所」「そこから思いつくアイデア」を言う。(ミニ・ブレスト)
- ③ 1~5分たったら、次のアイデアへ。

見本1

練習1

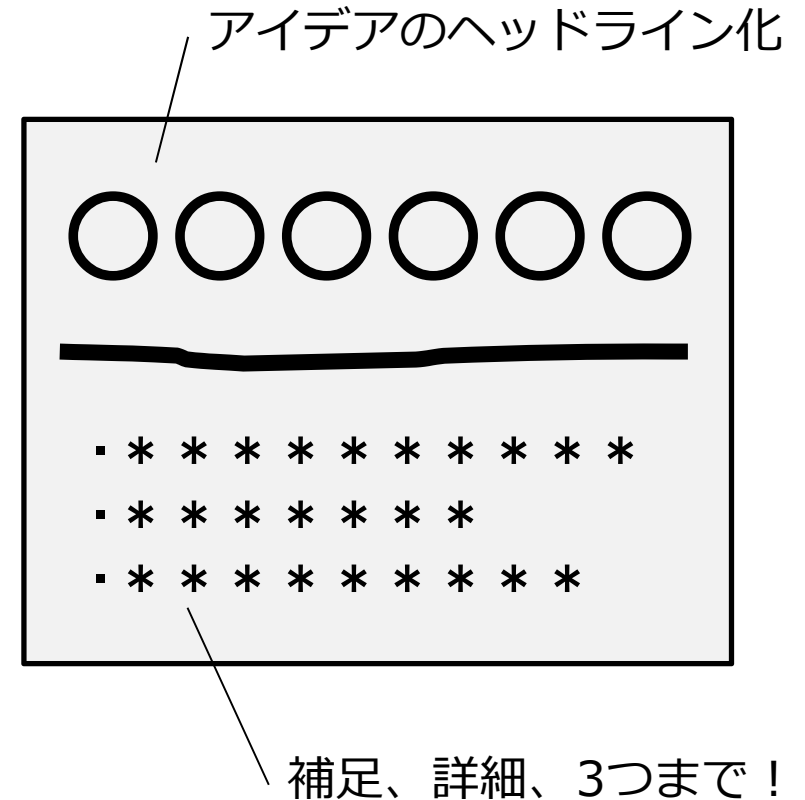
2テーブル
同時進行

6. アイデアの具体化

アイデア・スケッチ
もっとも気に入った
アイデアを書く。
1人2枚、7分 (+ α)

☆の多いカードを元にする
と書きやすい。

1つできたら
もう一枚は☆の少ないもので。



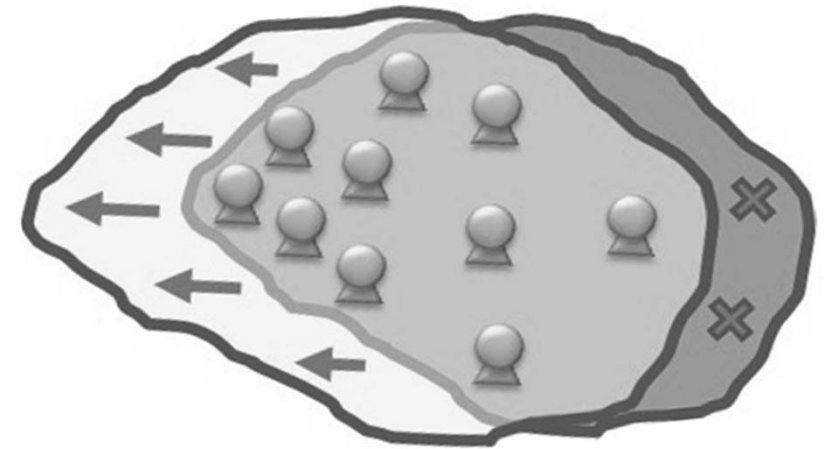
ミニ・プレゼン

各グループ内で、
アイデア・スケッチを
1人1分で、紹介

7. メッセージ

明日生まれる事業機会については 万人が同じスタートラインにいます。

人間は常に未充足を生み出します。
既存の市場は必ずしぼみ、
新しい市場が「毎日」生まれます。



明日生まれる事業機会については
万人が同じスタートラインにいます。

(既存を守ると同時に) 常に新しいことを企画し、
取り込んでいくことが、必要です。

創造的な人や組織が 次々と生まれてくる社会を 創りたい

アイデアプラント
代表 石井力重
rikie.ishii@gmail.com

創造支援が必要な時には、いつでもご相談ください
新しいことに挑戦するあなたを全力で応援します。